

令和2年度(令和元年度実績事業)

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

令和2年11月

下田市教育委員会

# 目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 教育委員会会議での審議状況	3～5
4 教育委員会会議以外の活動状況	5～6
5 施策ごとの取組状況	6～8
点検・評価シート	9～47
6 有識者委員会	48
7 有識者委員会の意見	48～49
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	50～51

## はじめに

下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について1年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

この結果を、第4次下田市総合計画に定められた基本目標に基づく今後の施策に十分に活かし、「人が輝くまちづくり」を担う就学前教育・学校教育及び生涯学習における教育学習環境を更に充実し、活力ある教育行政を推進することで下田市が目指すまちづくりの一役に努めてまいります。

また、平成27年度に策定した下田市教育大綱における本市教育の基本理念である『開国のまちから 夢をつなぐ「未来の人づくり」「自ら学ぶ人づくり」』を推進してまいります。

## 下 田 市 教 育 委 員 会

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 下田市教育委員会教育委員名簿

（令和元年度当初 在籍委員）

職 名	氏 名	任 期
委員(教育長職務代理者)	田 中 とし子	H29. 3. 15～R 2. 3. 14
委 員	渡 邊 亮 治	H26. 12. 13～R 4. 12. 12
委 員	西 堀 政 幸	H28. 12. 15～R 2. 12. 14
委 員	天 野 美 香	H25. 12. 14～R 3. 12. 13
教 育 長	佐々木 文 夫	H27. 7. 21～R 3. 7. 20

※ 令和2年3月15日 田中とし子委員再任

# 教育委員会点検・評価の概要

## 1 点検・評価の趣旨

### (1) 点検・評価の目的

教育委員会は、地教行法第 26 条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

### (2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、令和元年度に実施した事務事業について、下田市教育大綱で掲げる本市教育の基本理念である『開国のまちから 夢をつなぐ「未来の人づくり」「自ら学ぶ人づくり』』を念頭におきながら、6つの目標「自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。」「「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。」「家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。」「いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。」「歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。」「市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。」に分類して、点検・評価の対象としました。

### (3) 点検・評価の方法

点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検・評価シートに基づき点検・評価を行い、教育委員の評価として

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| A | 「十分成果が上がって良好に行われている。」 |
| B | 「成果が上がって概ね良好に行われている。」 |
| C | 「成果が十分に上がっておらず改善が必要。」 |

のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

また、点検・評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

## 2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月 20 日以降を目処に月 1 回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

令和元年度は、13 回（定例会 12 回、臨時会 1 回）会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12 回	1 回	13 回

## 3 教育委員会会議での審議状況

地教行法第 25 条及び下田市教育委員会会議規則(平成 27 年下田市教育委員会規則第 2 号)に基づき、令和元年度は 59 件の議案を審議しました。

区分	番号	議案名
4 月定例会 4 月 25 日(木)	報第 3 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立図書館長の任命について)
	報第 4 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館長の任命について)
	報第 5 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立青少年の家所長の任命について)
	報第 6 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター所長の任命について)
	報第 7 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市文化財保護審議会委員の任命について)
	報第 8 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立図書館協議会委員の任命について)
	報第 9 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年補導センター補導員の委嘱について)
	報第 10 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の委嘱について)
	報第 11 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の委嘱について)
	報第 12 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立学校統合準備委員会委員の委嘱について)
	報第 13 号	専決処分の承認を求めることについて (下田市負担金補助及交付金に関する規則の全部改正に伴う関係要綱等の整備に関する要綱の制定について)
	議第 16 号	改元に伴う下田市教育委員会関係規則等の整備に関する規則の制定について
	議第 17 号	下田市ファミリーサポートセンター事業実施要綱の一部改正について
5 月定例会 5 月 27 日(月)	議第 18 号	下田市社会教育委員の委嘱について
	議題 19 号	下田市公民館運営審議会委員の委嘱について
	議題 20 号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める

区 分	番 号	議 案 名
5月定例会 5月27日(月)	議第21号	条例の一部を改正する条例) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和元年度下田市一般会計補正予算第2号：教育委員会)
6月定例会 6月27日(木)	報第14号 報第15号 議第22号 議第23号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の委嘱について) 専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の委嘱について) 下田市立図書館整備庁内検討委員会設置要綱の制定について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
7月臨時会 7月4日(木)	議第24号	下田市立学校統合準備委員会からの第二次答申に伴う教育委員会の方針決定について
7月定例会 7月22日(月)	議第25号 議第26号 議第27号	令和2～5年度使用の小学校用の教科用図書の採択について 令和2年度使用の中学校用「特別の教科道徳」を除くすべての教科用図書の採択替えについて 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
8月定例会 8月23日(金)	報第16号 議第28号 議第29号 議第30号 議第31号 議第32号 議第33号	専決処分の承認を求めることについて (消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (子ども・子育て支援法等の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和元年度下田市一般会計補正予算第4号：教育委員会) 下田市民文化会館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 下田市立学校処務規程の一部を改正する規程の制定について 下田市中学生自転車損害賠償保険等加入に係る補助金交付要綱の制定について
9月定例会 9月25日(水)	報第17号 議第34号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度下田市一般会計補正予算(第3号)：教育委員会) 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
10月定例会 10月23日(水)	報第18号 議第35号 議題36号	専決処分の承認を求めることについて (下田市幼稚園給食費徴収要綱の一部を改正する要綱の制定について) 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会委員の委嘱について 民法改正に伴う成年年齢引き下げ後の成人式対象年齢に関する教育委員会の方針決定について
11月定例会 11月28日(木)	報第19号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年下田市一般会計補正予算(第5号)：教育委員会)

区 分	番 号	議 案 名
11月定例会 11月28日(木)	報第20号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度下田市一般会計補正予算(第6号):教育委員会)
	議第37号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立公民館設置管理条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第38号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和元年度下田市一般会計補正予算第7号:教育委員会)
	議第39号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
12月定例会 12月24日(火)	報第21号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について)
	議第40号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
1月定例会 1月20日(月)	議第1号	下田市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議第2号	下田市立学校処務規程の一部を改正する規程の制定について
2月定例会 2月20日(木)	議第3号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部を改正する条例の制定について)
	議第4号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和元年度下田市一般会計補正予算第8号:教育委員会)
	議第5号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和2年度下田市一般会計予算:教育委員会)
	議第6号	静岡県費負担教職員人事の内申について
	議第7号	下田市立学校統合準備委員会委員の委嘱について
	議第8号	下田市就学奨励金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
3月定例会 3月25日(水)	報第1号	専決処分の承認を求めることについて (下田市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定 について)
	議第9号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について
	議第10号	社会教育指導員設置規則の一部を改正する規則の制定について
	議第11号	下田市吉田松陰寓居処管理規則の一部を改正する規則の制定について
	議第12号	下田市立学校体育施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の 制定について
	議第13号	下田市学校教育の基本方針について
	議第14号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について

①基本方針 1件 ②議案の原案の決定 14件 ③規則及び規程の改定又は改廃 16件 ④人事 18件  
⑤準要保護児童生徒の認定 6件 ⑥その他 4件 合計 59件

#### 4 教育委員会会議以外の活動状況

##### (1) 教育委員会点検評価有識者委員会

開 催 日	場 所
11月7日(木)	下田市役所 中会議室

(2) 下田市総合教育会議

開催日	場所
11月7日(木)	下田市役所 中会議室

5 施策ごとの取組状況

教育委員会では、それぞれの基本目標を実現させるための施策の項目に対応する事業について点検・評価シートを作成し内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	確かな学力を育成する授業の推進	市指定研究校への支援 市研修主任研の開催 校内研修への支援	9
	生徒指導が機能する授業の推進	市生徒指導研の開催 授業づくり支援 市初任研の開催	10
	特別支援教育の充実	児童・生徒適応指導事業 特別支援教育体制推進事業	11
「豊かな感性」を育む教育活動の推進	下田の歴史と文化、自然を学ぶ学習の推進	体験プログラム事業	12
	コミュニケーション能力の素地を養う英語教育の推進	英語力向上プロジェクト事業 中学校ALT(外国人講師等) 小学校外国語活動へ社会人活用 ニューポート市中学生派遣事業 英語検定受検推進事業	13
	子ども一人ひとりの心に響く道徳教育の充実	道徳教育の充実	14
「豊かな感性」を育む教育活動の推進	感性を磨き、豊かな心を育てる読書活動の充実	学校司書の配置 新刊図書の購入	15
「開かれた学校づくり」の推進	内と外に開かれた信頼される学校づくりの推進	学校公開と学校評価による教育活動の改善 地域の人材活用	16
	関係機関との連携体制の構築と子どもを守る体制の強化	関係機関との連携 “チーム学校”の推進	17
		放課後児童クラブ	18
幼保こども園・小・中・高の連携の強化	幼保こども園との連携と 幼小の接続 小中連携	19	



目標実現のための施策		事業等	Page
「安心・安全な環境づくり」の推進	自助、共助の力を育成する防災教育、安全教育の充実	地域と連携した防災・防犯教育	20
	人権意識を育む学校づくりの推進	不登校等対策連絡協議会 市初任研修 市いじめ問題対策連絡協議会 人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問 全国中学校人権作文コンテストへの参加	21
教育施設・環境整備の推進	児童生徒のよりよい学びに向けた学校再編整備	中学校再編整備事業	22・23
	安心・安全な給食を提供する学校給食センターの運営	学校給食管理運営事業	24
	ICTを活用した授業実践を行う体制の整備	教育委員会事務局総務事務 小学校及び中学校教育振興事業 奨学振興事業	25
	既存学校施設整備	小学校及び中学校管理事業 単独学校施設災害復旧事業	26・27

目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
就学前教育の充実	幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携	公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業、民間保育所事業	28
		子育て支援事業	29
	教職員の資質と能力の向上に向けた研修の充実	園内研修の実施 園外研修への派遣	30
施設・環境整備の推進	認定こども園を核とした施設・環境整備	公立保育所管理運営事業 幼稚園管理事業	31

目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。

目標実現のための施策		事業等	Page
青少年活動の充実	地域活動への参加や地域との交流を深める機会の充実	青少年海の家管理運営事業 青少年健全育成事業	32
	文化や芸術、スポーツなどの青少年活動との連携	青少年健全育成事業	33
	家庭、地域、学校との連携を図った非行防止に向けた運動の推進	青少年健全育成事業	34

目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。

目標実現のための施策		事業等	Page
生涯学習活動の推進	市民のニーズに合った 学習プログラムの提供	成人活動推進事業 公民館活動推進事業	35
	図書館ボランティアとの連携 による図書館サービスの充実	図書館管理運営事業	36
	社会教育団体などの 自主的学習活動の支援	社会教育団体などの 自主的な学習活動の支援	37
学習施設の再編、整備	新たな図書館の建設	図書館協議会等	38
	地域の実情に見合った 公民館の再編整備	公民館管理運営事業	39

目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。

目標実現のための施策		事業等	Page
文化施設の整備	市民文化会館などの施設の 改修	市民文化会館管理運営事業	40
文化・芸術活動の活性化	文化事業や講座の開催 自主的な文化活動への支援	芸術文化振興事業	41
文化財の保存、 継承と活用	国、県、市の指定文化財の 保存と活用	芸術文化振興事業	42
	民俗芸能などの地域文化の 継承		
	埋蔵文化財の保護・保全		
郷土資料の保存、 継承と活用	郷土資料の保存や研究と 市史編纂事業の実施 郷土の文化財などの 学習活動への支援	市史編さん事業	43

目標6 市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。

目標実現のための施策		事業等	Page
施設の有効活用	学校施設の一般開放	保健体育総務事務	44
	利用者のニーズに応える 施設整備	下田市民スポーツセンター 管理運営事業 吉佐美運動公園管理運営事業	45
スポーツの振興	市民が気軽に参加できる スポーツイベントの開催	社会体育活動推進事業	46
	NPO法人などと連携した 総合的なスポーツの振興	社会体育活動推進事業	47

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

<b>施 策 体 系</b>	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○確かな学力を育成する授業の推進	
<b>事業等</b>	市指定研究校への支援、市研修主任研の開催、校内研修への支援	<b>担 当</b>	学校教育課

### 2 事業概要・評価等

<b>事業概要 (具体的施策)</b>	<p><b>【市指定研究校への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年11月8日(金) 下田市教育研究会指定研究発表(稲生沢中) 市内全教職員参加</li> </ul> <p><b>【市研修主任研の開催 年3回】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の市の重点と各校の校内研修について</li> <li>・魅力ある授業づくりについての協議</li> <li>・市指定研究発表のサポート(司会、記録等)</li> </ul> <p><b>【校内研修への支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による各小中学校の訪問と校内研修についての指導・助言</li> </ul>						
<b>検 証</b>	<p>下田市教育研究会指定研究発表では、稲生沢中学校が3年間にわたる研究実践の成果を発表した。稲生沢中学校は、「授業改善～道徳教科化の活用～」を研究主題として、道徳科の授業改善と各教科の授業改善を結びつけることで、個々の教員の授業改善が促進されることを提案した。発表会では市内の教職員が一堂に集い、確かな学力を育むために研修を深めた。</p> <p>市研修主任研では、子どもが主体的に学ぶ授業や学びの実感を積み重ねる授業を目指して、各校の研修主任が協議し、計画策定した。子どもの問いや問題解決的な学習を大切に授業づくり、子どもの事実をもとに全員参加で進める研修の推進など、各校の校内研修の充実が図られた。また、新学習指導要領の実施に伴う評価の在り方などを研修することで、指導と評価の一体化など具体的な授業改善の取組を共有し、市内教職員の資質能力の向上をはかった。</p>						
<b>今後の課題 方 向 性</b>	<p>コロナウイルス感染症対策と子どもの主体的・対話的で深い学びの両立をめざした教育活動の実施方法についての研修を進める。</p>						
<b>教育委員評価</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; border: 1px solid black;">A</td> <td style="border: 1px solid black;">十分成果が上がって良好に行われている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">B</td> <td style="border: 1px solid black;">成果が上がって概ね良好に行われている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">C</td> <td style="border: 1px solid black;">成果が十分に上がっておらず改善が必要</td> </tr> </table>	A	十分成果が上がって良好に行われている	B	成果が上がって概ね良好に行われている	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要
A	十分成果が上がって良好に行われている						
B	成果が上がって概ね良好に行われている						
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	<p>各校において、熱心に授業改善の取り組みが進められている。今後も、児童生徒一人ひとりが学びを実感する授業づくりに取り組み、直面する問題と向き合いながら、未来を切り拓く子どもを育成していきたい。</p>						

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○生徒指導が機能する授業の推進	
事業等	市生徒指導研の開催、授業づくり支援、市初任研の開催	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【市生徒指導研修会の開催 年6回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の生徒指導担当者による情報交換</li> <li>・子ども一人ひとりを理解し、成長を支える生徒指導の推進</li> <li>・いじめ・不登校対策連絡協議会を兼ねた情報交換</li> <li>・新中学校統合を見据えた生徒指導関係の協議</li> </ul> <p>【授業づくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による授業参観及び子ども理解を主眼においた事後研修会</li> <li>・学級づくりや人間関係づくりを基盤とした授業についての指導・助言</li> </ul> <p>【市初任者研修会 年4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級づくりを基盤とした授業についての指導・助言</li> <li>・先輩授業の参観をきっかけとした、学級集団づくりについての協議</li> </ul>
検 証	<p>市生徒指導研修会では、問題行動や不登校、いじめ、気になる児童生徒について情報交換するとともに、「子ども一人ひとりを理解し、成長を支える」という視点で指導の方向性や具体的な関わりを共有した。また、不登校児等対策連絡協議会を通して、子どもの実態を的確にとらえ、日々の授業づくりに反映した。いじめ問題については、いじめ対策連絡協議会を実施したり、毎月県に提出する月例報告に市独自の用紙を取り入れたりするなど、“気になる子”についての情報共有に努めた。</p> <p>各校への授業づくり支援では、指導主事が訪問を行う際、「生徒指導が機能する授業」「一人ひとりを大切にしたい授業」を念頭に助言を行い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組んだ。</p> <p>市初任者研修会では、日頃の授業づくりや生徒指導上の諸問題について悩みを語り合い、よりよい解決策を探るとともに、先輩の授業を参観する中で、生徒指導が機能する授業や互いに支え合う学習集団づくりについて学んだ。</p>
今後の課題 方 向 性	<p>確かな子ども理解のもと、互いに支え合う学級づくりを基盤として、対話を中心としながら、多様な見方・考え方を受け止め、尊重する授業づくりを進める。</p>
教育委員評価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	<p>現在、様々な家庭環境や生育歴、背景を抱えた子どもたちが小中学校に通っている。そうした子どもたち一人ひとりを的確にとらえ、あたたかい雰囲気の中で安心して学ぶことができる授業づくりや学級づくりに努めたい。</p>

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「学びの実感」を積み重ねる授業づくり	○特別支援教育の充実	
事 業 等	児童・生徒適応指導事業、特別支援教育体制推進事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【支援員等の効果的な配置：臨時雇賃金 21,217 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員 20 名</li> </ul> <p>【市巡回相談等の実施：謝礼 394 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育相談員（臨床心理士）による巡回相談（年 15 回実施）</li> <li>・市就学相談委員会専門部会による幼保こども園の訪問</li> </ul> <p>【幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営：臨時雇賃金 3,322 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児ことばの教室指導員 1 名、適応指導教室指導員 3 名</li> </ul> <p>【特別支援教育就学奨励費：897 千円】</p>		
検 証	<p>特別支援教育支援員20名の配置を行った。各校において特別な配慮を要する児童生徒が増加していることから、昨年度から2名増員したことで各校の実情に応じて個に応じた効果的な支援を進めることができた。特別支援教育の充実を図ることで、発達に課題をもつ児童生徒への対応や学校生活の質の向上、学習活動の充実等、子ども一人ひとりの思いや保護者の願いに寄り添った教育活動に取り組んだ。また、市単独の予算措置により、特別支援教育相談員（臨床心理士）を中心とした巡回相談を年15回実施し、発達に課題をもつ幼児・児童・生徒への支援に取り組んだ。併せて、就学に向けて、市就学支援委員会専門部会による幼保こども園への訪問を実施し、新学齢児の実態把握と適切な支援を行った。</p> <p>幼児ことばの教室では、幼保こども園や市民保健課健康づくり係、市福祉事務所等と連携しながら該当保護者に助言を行い、就学前に適切な支援がなされるよう努めた。適応指導教室では、指導員3名の配置等を行い、学校生活に適応できず不登校傾向にある児童生徒に対して、適応状況の改善に取り組んだ。</p> <p>なお、通級教室（小学校で2学級）、特別支援学級（小中学校合わせて4学級）が開設されており、市の特別支援教育体制が整備されている。</p>		
今後の課題 方 向 性	各校の実態に応じた支援員の配置をさらに進め、きめ細かな支援に取り組むとともに、早期からの特別支援教育体制を確立する。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	特別支援教育は、今後もさらに需要が高まり、対応が必要になる。市費による支援員等を適切に配置するとともに、効果的な支援の実現や特別支援の確立を進めたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○下田の歴史と文化、自然を学ぶ学習の推進	
事業等	体験プログラム事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【体験プログラム事業：3,250千円】		
	稲梓小	民泊体験、ウナギ漁、鮎友釣り等	
	稲生沢小	民泊体験、ツリークライミング、バードウォッチング体験等	
	白浜小	サーフィン、プログラミング教育、キャンプ等	
	浜崎小	短歌・俳句体験、陶芸体験、和菓子作り体験等	
	下田小	和菓子作り体験、ジオサイト巡り、寝姿山探検等	
	大賀茂小	稲作体験、みかん狩り、ジオサイト教育、パン作り体験等	
	朝日小	民泊体験、下田海中水族館見学、干物作り体験等	
	稲梓中	稲作体験、シーカヤック体験	
	稲生沢中	シーカヤック体験、地域学習	
	下田東中	サーフィン、シーカヤック、ライフセービング等	
	下田中	お飾り作り体験、干物作り体験、福祉体験、職場体験等	
海洋アクティビティ (白小・浜小・東中)	下田海中水族館見学、シュノーケリング体験等		
検 証	<p>地域の「人、もの、こと」との積極的なかかわり合いを大切にし、地域に根ざした多様な自然体験・社会体験活動に触れるため、体験プログラム事業を実施した。市内全ての小中学校で実施し、地域の体験を通じてたくさんの感動が生まれるとともに、児童生徒一人ひとりの豊かな感性を育むことにつながった。</p> <p>民泊体験では、中学校統合を見据えた学校間交流の場としても活用した。また、海洋アクティビティとして、白浜小、浜崎小、下田東中をモデル校に指定し、下田の海に特化した体験学習を実施した。</p>		
今後の課題 方向性	多様な地域活動に触れるための機会の増加と、伝える側の人材育成。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	下田市の恵まれた自然や歴史・文化を生かした体験学習を通じ、児童生徒の郷土を愛する心を育成するよう、より一層充実していきたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○コミュニケーション能力の素地を 養う英語教育の充実	
事 業 等	英語力向上プロジェクト事業、中学校A L T (外国人講師等)・小学校外国語活動へ社会人活用、ニューポ ート市中学生派遣事業、英語検定受検推進事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【英語力向上プロジェクト事業：1,500千円】</p> <p>○春の交流（令和元年5月17日(木)～18日(土)＜下田小＞）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒船事前交流会（学生による外国語活動等）、黒船交流会（水兵さんとの黒船交流会等）、黒船ボランティアガイド（水兵さんに下田の史跡を案内）</li> </ul> <p>○秋の交流（令和元年9月4日(水)～6日(金)＜大賀茂小、稲梓小、浜崎小＞）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生による英語活動</li> <li>・給食、昼休みにおける児童との交流</li> <li>・英語力向上プロジェクト推進委員会及び講演会開催</li> </ul> <p>【中学校A L T・小学校外国語活動社会人活用：5,823千円】</p> <p>小中学校11校全てに指導助手（地域の社会人活用）及びA L Tを派遣配置。</p> <p>【ニューポート市中学生派遣事業：1,527千円】</p> <p>中学生4名をニューポート市へ派遣（令和元年7月10日(水)～18日(木)）。</p> <p>【英語検定受検推進事業：462千円】</p> <p>中学生176名に対し、英語検定受検料に対する補助金を交付。</p>		
検 証	<p>英語力向上プロジェクト事業において、玉川大学と連携し、春は下田小、秋は大賀茂小、浜崎小、稲梓小を担当校として、外国語活動の実践に取り組んだ。子どもたちの英語に対する興味関心を高めるとともに、キャリア教育の視点からも貴重な機会となった。</p> <p>中学校A L T・小学校外国語活動へ社会人活用については、専門性を活かした指導の充実を図るとともに、教員へのサポートを進め、新学習指導要領全面实施を見据えた小学校外国語活動や中学校英語科の授業の充実に取り組んだ。</p> <p>英語検定受検推進事業は、英語検定受験費用を軽減するとともに英語学習の機会を増やし、英語検定を通じて英語力を伸ばす一助となった。</p>		
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>コロナウイルス感染状況を見定めながら、今後も玉川大学との連携を継続し、英語教育の充実と国際感覚豊かな子どもの育成を進めたい。また、中学生対象の英語検定受検補助金制度の拡充を行い、更なる英語教育の充実を図る。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対するコメント	<p>英語教育の充実やグローバル人材育成の重要性はますます高くなっている。今後も具体的な取組をより一層充実させていきたい。</p>		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○子ども一人ひとりの心に響く 道徳教育の推進	
事業等	道徳教育の充実	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【道徳教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領全面実施を見据えた、「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進</li> <li>・教育活動全体を通じた豊かな心を育む道徳指導の推進</li> </ul>		
検 証	<p>学習指導要領の改定により実施となった「特別の教科道徳」について、考え・議論する道徳を推進するための具体的な指導方法や評価に関する情報を提供するとともに、各校で研修に取り組み理解を深めた。</p> <p>小中ともに、「特別の教科 道徳」の授業づくり及び授業改善が課題になっていることから、指導訪問の機会を活用し、具体的な授業のイメージや評価の在り方、通信票や指導要録への記載の仕方などの情報を提供し、子ども一人ひとりが“自分事”として道徳的諸価値について考えるよう、取組を進めた。また、下田市教育研究発表会では道徳教育指導者養成研修会に参加した稲生沢中教諭から考え・議論する道徳を推進するための具体的方策について伝達され、市内小中学校教諭に周知した。</p> <p>道徳教育は教育活動全体で行われる必要があることから、各校で全体計画や別葉を作成し、道徳教育の充実に取り組んだ。各校において、児童生徒の実態をもとに、日々の学校生活で場面を捉えて指導したり、従来の道徳授業を工夫したりしながら、子どもたちの道徳性の涵養を目指して取り組んだ。</p>		
今後の課題 方 向 性	「特別な教科道徳」について理解を深めるとともに、具体的な指導や評価方法について実践を積み重ね、「考え、議論する道徳」の授業づくりを進める。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	子どもたちの道徳性を養うことは、変化が激しく価値観が多様化する現代社会を生きていく上で必要なことである。学習指導要領の改定を受け、適正な指導が行われるよう具体的な取組を進めたい。		



# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「豊かな感性」を育む教育活動の推進	○感性を磨き、豊かな心を育てる 読書活動の充実	
事業等	学校司書の配置、新刊図書の購入	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校司書の配置 小学校7校を巡回：臨時雇賃金 1,528千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書1名の配置</li> <li>・学校司書により市内全小学校（巡回）における読書環境の充実</li> <li>・学校司書及び図書館職員が連携した読書活動の充実</li> </ul> <p>【新刊図書の購入：図書購入費 1,387千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の読解力に応じた優良図書の購入</li> <li>・読書感想文推薦図書の購入</li> </ul>		
検証	<p>学校司書1名の任用により、毎月各小学校3日程度を巡回訪問することで、各校の図書室などにおける読書環境の充実に取り組んだ。</p> <p>学校の要望を踏まえて、担任の先生と学校司書及び図書館職員が連携し、児童の読書意欲向上に向けて掲示物の作成や読み聞かせを実施した。</p> <p>学校司書の専門性を活かして、児童の読解力に応じた優良図書の紹介、新刊図書購入時のアドバイス、図書館の使い方についての指導等に取り組み、学校図書室の環境整備や、各校における読書活動の充実に繋げた。</p> <p>専門性が必要となる一人職であることや、研修の機会が少ない実情を踏まえ、さらに専門性を高めるため、図書館職員との交流や読書指導にかかわる意見交換会などに参加して得られたことを各校に還元した。</p> <p>読書感想文推薦図書を全校分購入し、子どもたちにとって魅力的な新刊図書も購入した。読書環境の充実のために、各校図書室の蔵書充実に取り組んだ。</p>		
今後の課題 方向性	学校司書の任用を継続・増員・拡大し、市内全小中学校における読書環境を充実させる。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	豊かな感性を育むことにつながる読書の環境を充実させるためにも、学校、学校司書、図書館が連携していくことは効果的であることから、専門的な知識をもった学校司書の配置、増員及び読書指導の充実を図っていきたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○内と外に開かれた信頼される学校づくりの推進	
事業等	学校公開と学校評価による教育活動の改善、地域の人材活用	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより等による自校の教育活動についての発信</li> <li>・積極的な学校行事の公開や一日参観等の実施</li> </ul> <p>【学校評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や保護者を対象とした学校生活アンケートの実施</li> <li>・学校生活アンケートの結果をもとにPDCAを機能させた教育活動の改善</li> <li>・学校自己評価及び学校評議員等による学校関係者評価の実施</li> </ul> <p>【地域の人材活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能教科等における地域の人材活用</li> <li>・総合的な学習における地域の専門家の活用</li> </ul>
検 証	<p>学校行事や一日参観、総合的な学習の時間の発表等、積極的に学校を保護者や地域に公開した。保護者や地域の学校に対する関心は高く、多くの保護者や地域の方が学校の様子を参観する姿が見られた。また、各校の創意工夫により、学校だより等で子どもの様子や学校の現状、教育活動のねらい等を発信し、地域との連携に努めた。学校の教育活動に協力したいという地域の思いは各校で見られ、それぞれの学校で地域の教育力を生かした活動につながった。</p> <p>学校評価では、どの学校でも年2～3回児童・保護者を対象とした学校生活アンケートを実施し、その結果を各家庭や地域に還すとともに、全職員で確認し、具体的な解決策を探った。こうしたPDCAサイクルを機能させることで、学校教育目標の具現に向けて、取組の改善を図っていった。また、学校評議員や地域の有識者による学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に取り組んだ。</p> <p>各校の教育活動の特色を生かし、地域の専門家を招いての稲作活動や教科等相談員を活用した音楽、書写、総合的な学習を実施した。地域人材の活用を通して、開かれた学校づくりを実施した。</p>
今後の課題 方向性	地域・家庭との連携・協働により「社会に開かれた教育活動」を実現する体制づくりを進める。
教育委員評価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<b>B</b> 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コメント	保護者も地域も自分たちの学校のために協力したいと考えている。教育活動の更なる充実を進めるためにも、社会に開かれた学校づくりを推進したい。

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○関係機関との連携体制の構築と子どもを守る体制の強化	
事業等	関係機関との連携、“チーム学校”の推進	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p><b>【関係機関との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県賀茂児童相談所、市福祉事務所、市民保健課等との連携</li> <li>・ 市要保護児童対策協議会及び母子連絡会での情報共有</li> <li>・ 下田警察署との連携</li> </ul> <p><b>【“チーム学校”の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SC及びSSW（県任用）の活用</li> </ul> <p>* SC：スクールカウンセラー、SSW：スクールソーシャルワーカー</p>		
検証	<p>近年、学校だけでは解決できない家庭的な背景を起因とする不登校や生徒指導案件等がふえてきており、関係機関との連携体制の強化は必須となっている。</p> <p>賀茂児童相談所や福祉事務所と連携することで、虐待等から子どもを守るための情報を共有し、未然に児童生徒の生命や安全を守るよう努めた。また、子どもの貧困や発達に課題をもつ児童生徒による問題行動や不登校、学校生活への不適応が問題になっていることから、市民保健課及び福祉事務所と情報共有に努め、早期からの適切な就学支援を進めることで、一人ひとりの子どもの成長を支えてきた。育児支援や乳幼児の虐待、療育等の問題については主に母子連絡会において、学齢児の虐待や療育、不登校等については主に要保護児童対策協議会において、市教委担当者や学校・園の代表が情報交換をし、子どもや家庭の実態把握と効果的な対応に取り組んだ。</p> <p>児童生徒の問題行動や地域の不審者情報などについては、警察が関わる案件こそ多くはないが、下田警察署と情報共有しながら対応することができた。</p> <p>県費による配置だが、現在市内全校にSC及びSSWが配置（中学校区等）されている。市教委としてSSWと定期的に連絡会をもったり、SC・SSWを交えてケース会議を実施したりするなど、学校のチーム力向上を図った。</p>		
今後の課題 方向性	<p>学校だけでは解決が難しい事案が増えていることから、外部機関と連携しながら対応を進めるとともに、SCやSSW等を活用して“チーム学校”として子どもを守る体制を強化する。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>学校教育を取り巻く諸問題を解決していくには、各関係機関との連携は必要不可欠である。開かれた学校づくりを進め、チームとして教育活動に取り組む体制づくりを推進していきたい。</p>		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○関係機関との連携体制の構築と 子どもを守る体制の強化	
事業等	放課後児童対策事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p><b>【放課後児童対策事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下田小学校放課後児童クラブ 月平均児童数 53 人、指導員 6 人の 1 日 4 人シフト</li> <li>・稲生沢小学校放課後児童クラブ 月平均児童数 36.8 人、指導員 3 人の 1 日 2 人シフト</li> <li>・朝日地区放課後児童クラブ(朝日小学校・大賀茂小学校) 月平均児童数 13.5 人、指導員 4 人の 1 日 2 人シフト</li> </ul> <p>開設日：月曜日から土曜日 開設時間：（平 日） 事業終了後から午後 5 時 30 分まで （土曜日、長期休校日） 午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分まで</p>		
検 証	<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し適切な遊び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、「放課後児童クラブ」を開設している。令和元年度からは、従来の下田小学校、稲生沢小学校の両クラブに加え、朝日・大賀茂小学校児童を対象とした朝日地区放課後児童クラブを朝日公民館に開設した。また、平成30年度の繰越事業で完成した浜崎小学校増築棟における放課後児童クラブを開設するための準備を実施した。</p> <p>通年の登録児童数は、下田・稲生沢・朝日クラブで月平均103人、春・夏・冬季の長期休み期間には、通年登録の児童のほか延べ114人の登録があった。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症防止のための小学校等の臨時休業に伴い、3月2日から3月19日までの間、平日は午前8時30分からの開所とした。</p> <p>将来的に下田市内全小学校区での放課後児童クラブ開設を目標に事業を推進すると共に、より利用しやすい放課後児童クラブを目指し、就学前から就学移行における子どもの成長に合わせたスムーズな支援を実施することで、子育て支援・児童の安全と健全な育成を推進した。</p>		
今後の課題 方向性	<p>指導員の人材確保という大きな課題は有るが、第2期子ども・子育て支援事業計画期間内における全小学校区での放課後児童クラブ開設を目標に掲げ、事業の推進を図る。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<b>B</b>	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>「小1の壁」を打破するため、目標である全小学校区での放課後児童クラブの開設に向け推進していきたい。</p>		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「開かれた学校づくり」の推進	○幼保こども園・小・中・高の連携の強化	
事 業 等	幼保こども園の連携と幼小の接続、小中連携	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【幼保こども園の連携と幼小の接続】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保こども園の子供間、職員間の交流</li> <li>・幼保こども園と小学校との円滑な接続</li> </ul> <p>【小中連携の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区単位での合同研修会の実施</li> <li>・小中連携の強化</li> </ul>
検 証	<p>賀茂地域に幼児教育アドバイザーが配置されるようになり、市内各園及び小学校を訪問するとともに、園・校内研修支援に取り組んできた。平成30年度には賀茂地域1市5町が共同設置する形に移行され、幼児教育のさらなる研修体制教化が行われている。中でも、11月に実施した幼小連携推進研修会では、幼保こ園の職員と小学校の教員とで子どもの学びの捉え方に関し、共通理解を図る機会をもつことができた。小中の連携については、各校の創意工夫により、中学校教員による出前授業や体験入学時の部活動体験、互いの研究授業の参観等を通して、中1ギャップが生じないよう取り組んだ。また、令和4年の中学校統合を見据え、統合準備委員会を開催した。市内小中学校の教職員が一同に会し、各部会に分かれて実務的な協議を行うことで、小中の連携を着実に進めている。</p> <p>今後さらに幼保・小・中・高の連携を強化するためには、民間保育所を含めた5園と7小学校との交流をさらに進めるとともに、中から高への接続も含め、さらに長いスパンで連携を図り、子供たちの成長を支える必要がある。間近にせまってきた新中学校統合を見据え、これまで以上に幼保こ・小・中・高で願う子供の姿を共有し、具体的な取組を進めたい。</p>
今後の課題 方 向 性	幼保こども園、小学校、中学校、高校の縦の接続と横の連携を意識し、中学校統合も見据えた、具体的な児童生徒の交流や職員の交流を推進する。
教育委員評価	A 十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B 成果が上がって概ね良好に行われている
	C 成果が十分に上がっておらず改善が必要
評価に対する コ メ ン ト	子どもの成長は幼保こども園から小学校、中学校、高校と切れ目なくつながっている。子どものよりよい成長を支えるためにも、更に幼保こ小中高の連携強化を推進していきたい。

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「安心・安全な環境づくり」の推進	○自助、共助の力を育成する防災教育、安全教育の充実	
事業等	地域と連携した防災・防犯教育	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p><b>【地域と連携した防災・防犯教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域が連携した防災・防犯教育の実施</li> <li>・災害に応じた防災訓練等の見直しと効果的な実施</li> <li>・土砂災害や津波を想定した各校の避難経路の確認</li> <li>・登下校防犯プランに基づく通学路点検の実施</li> </ul> <p><b>【公用車による青色防犯パトロールの推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所公用車への青色回転灯装備車の増車</li> <li>・市役所職員へのパトロール実施者証の取得</li> <li>・定期的な青色防犯パトロール</li> </ul>		
検証	<p>各校の災害リスクを踏まえて、地域の防災担当者や市役所防災安全課及び県賀茂振興局危機管理課と連携した取組を進める等、地域の実情に応じた防災教育の充実に努めた。また、土砂災害、津波や東南海トラフ地震を想定し、避難確保計画の策定や学校防災マニュアル等の適時見直しに各校取り組んだ。災害に応じた避難経路の検討や避難訓練のあり方を考えるなど、安全かつ安心できる学校づくりを目指した。</p> <p>登下校防犯プランに基づく通学路の点検を各小学校において実施し、学校、地域、保護者において危険・要注意箇所を確認した。</p> <p>市役所公用車において10課20台が青色回転灯装備車として登録した。また、市役所職員35名がパトロール実施者証を取得し、各課業務中において適時パトロールを実施した。教育委員会においては毎月定期的なパトロールを実施した。</p>		
今後の課題 方向性	<p>土砂災害や津波及び東南海トラフ地震等、あらゆる災害にも対応した安全かつ安心できる学校づくりを推進するとともに、地域の協力が不可欠なソフト的施策の強化及び通学路の登下校時における防犯機能の強化を図る。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>台風に伴う災害など、東日本大震災等の大災害時の対応に加えて、身近な災害リスクへの対応も必要とされている。児童生徒の安全を守る防災教育の充実、安全な学校施設の整備、緊急時の体制づくり等、防犯機能の強化、安全かつ安心できる学校づくりを努めたい。</p>		

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇「安心・安全な環境づくり」の推進	○人権意識を育む学校づくりの推進	
事 業 等	不登校児等対策連絡協議会、市いじめ問題対策連絡協議会、人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問、全国中学生人権作文コンテストへの参加	担 当	学校教育課

### 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【不登校児等対策連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内児童生徒の不登校やいじめの状況についての情報共有及び協議</li> </ul> <p>【人権擁護委員による人権の花運動・学校訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の花（ひまわり）の栽培及び学校現場における現状把握</li> </ul> <p>【全国中学生人権作文コンテストへの参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国中学生人権作文コンテストへの応募</li> </ul>		
検 証	<p>令和元年10月24日に市生徒指導研修会を兼ね、不登校児等対策連絡協議会を開催した。民生委員・児童委員とともに、市内の小中学生の不登校やいじめの状況について情報共有を行い、様々な立場から市内の児童生徒一人ひとりの人権を守るよう取り組んだ。</p> <p>また、いじめ防止対策法に基づき整備を進めてきた市のいじめ問題に対する体制が、「下田市いじめ防止条例」の制定に伴って整備され、令和元年11月26日には「第1回下田市いじめ問題対策連絡協議会及び下田市いじめ問題対策専門委員会」を開催した。令和元年度は、中学校のいじめ認知件数38、小学校が88となっている。年々増加傾向にあるが、早期発見が未然防止につながるという観点から、軽微なものでも認知し報告している。なお、令和元年度は、認知したいじめに重大事案はなかったため、専門委員会は連絡協議会と共催した1回のみ開催し、下田市各小中学校の現状を把握するとともに、いじめ問題の未然防止と早期対応について協議を深めた。</p> <p>また、人権の花（ひまわり）の栽培や全国中学生人権作文コンテストへの応募を通じ、人権についての理解を深めた。</p>		
今後の課題 方 向 性	教育活動全体を通じて児童生徒の人権感覚を育てるよう意図的に教育活動に取り組むとともに、教職員の人権感覚の向上に努める。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	やがて社会に出て、一人の社会人として生きていく子どもたちに、人権感覚を育ててほしい。そのためにも、教職員が人権感覚を身に付け、日々の教育活動において子どもたちと関わることを期待している。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○児童生徒のよりよい学びに向けた 学校再編整備	
事業等	中学校再編整備事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<b>【中学校再編に関する取り組み】</b>	
	下田市立学校統合準備委員会 第二次答申	新中学校制服等について
	下田市立学校統合準備委員会	4回開催
	下田市立学校統合準備委員会 教職員合同部会研修会	1回開催 部会所属教職員 83人
	下田市立学校統合準備委員会 市内教職員全体会	1回開催 市内教職員 128人 講演 千葉大学教育学部 貞広齋子教授
	市長と語る会	10回開催
	新中学校部活動検討に係る アンケート	児童・保護者 798 回収 755 中学校教職員 56 回収 54
	下田市立中学校再編に係る 保護者説明会	7回開催(小学校学区ごと) 参加人数 182人
	下田市立学校統合準備委員会委員報酬 248千円 (仮称)下田市立統合中学校設計業務委託(債務) 78,014千円 下田中学校敷地内国有地測量業務委託 1,496千円 下田中学校仮設校舎整備工事設計管理業務委託 13,827千円 下田中学校仮設校舎整備工事(新規) 29,468千円 (プレハブ平屋建てA=386㎡:教室3部屋、倉庫2部屋、トイレ等)	
検 証	下田市立学校統合準備委員会については、4回の委員会を開催し、新中学校の制服、通学方法、部活動及び校章等の1校化に向けた具体的な協議を進めた。7月には制服、ジャージ、カバン等の第二次答申を行い、新中学校の制服等は教育委員会の承認を経て、学校再編時3年生となる生徒が既存4中学校へ入学する令和2年4月から採用されることとなった。 8月には市内教職員を対象とした中学校再編整備に係る研修会を開催し、千葉大学教育学部貞広齋子教授を招請し、講演会、ワークショップを実施した。11月には小学校単位で保護者説明会を行い、学校再編に関する意見を集約した。 下田市立統合準備委員会の部会で、保護者、地域住民、若手教職員等で構成する未来の下田創造プロジェクト部会では、「35歳の地元住民」をテーマに、未来の下田を担う子どもたちを育てるための新中学校での人材育成の方策について	



## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

<b>検 証</b>	<p>の協議を行った。</p> <p>また、統合準備委員会だよりを第3号から第5号まで発行し、中学校の統合に関する進捗状況、スケジュール等の情報を提供した。</p> <p>新中学校整備計画等については、平成30年度から令和元年度にかけ、(仮称)下田市立統合中学校設計業務委託を実施し、令和元年度分として実施設計を行った。また、新中学校整備に向けて国有地の測量及び仮設校舎の実施設計、整備工事、工事監理業務を実施した。</p> <p>令和元年度国の当初予算の追加申請による学校施設環境改善交付金の採択を受けた下田中学校グラウンド改良工事(20,000千円)については、年度内執行が困難なため、翌年度に全額を繰り越すものとした。</p>	
<b>今後の課題 方 向 性</b>	<p>中学校再編に関する具体的な協議(新しい学校のあり方、校歌、校章、通学方法等)を下田市立学校統合準備委員会を通じ進める。</p>	
<b>教育委員評価</b>	A	十分成果が上がって良好に行われている
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	<p>中学校再編に関する説明等を十分に行った上で、様々な意見を広く聞き、一歩ずつ着実に進めている。今後も保護者、学校、地域の声を大切にし、より良い中学校再編を推進していきたい。</p>	

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○安心・安全な給食を提供する 学校給食センターの運営	
事業等	学校給食管理運営事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>学校給食センターでは市内小中学校 11 校と県立東部特別支援学校 1 校へ給食を提供し、調理配送業務は株式会社レクトンへの業務委託により運営している。</p> <p><b>【債務負担行為】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>0 千円</td> <td>令和元年度</td> <td>59,078 千円</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>59,620 千円</td> <td>令和 3 年度</td> <td>59,620 千円</td> </tr> <tr> <td>総 額</td> <td>178,318 千円</td> <td>請 負 先</td> <td>株式会社 レクトン</td> </tr> </table> <p><b>【給食費公会計化】</b></p> <p>学校給食システムにより、市において賦課・徴収業務を行っている。          学校等給食費収入済額 64,968,530 円(幼稚園等給食費を除く)          小・中学校給食費収入未済額 2,083,020 円(122 件)          賄材料費 71,264,077 円(R1.4~R2.2)          (年間 167~169 回 小学校 936 人分・中学校 529 人分:R 元.5.1 現在)          臨時休校による学校給食費の免除(第 11 期分)</p> <p><b>【衛生管理・食育推進】</b></p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づく衛生管理の実施          食物アレルギーの児童生徒への対応          地域食材を活用した給食の提供</p>			平成 30 年度	0 千円	令和元年度	59,078 千円	令和 2 年度	59,620 千円	令和 3 年度	59,620 千円	総 額	178,318 千円	請 負 先	株式会社 レクトン
平成 30 年度	0 千円	令和元年度	59,078 千円												
令和 2 年度	59,620 千円	令和 3 年度	59,620 千円												
総 額	178,318 千円	請 負 先	株式会社 レクトン												
検 証	<p>調理配送業務の民間委託に伴い、定期的な業務確認、意見交換、研修会など、徹底した安全管理により、安定した学校給食が提供できた。</p> <p>学校給食費の公会計化により、市が賦課・徴収を行うこととし、口座振替又は申し出による児童手当からの徴収とした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校に伴い、年間 180 回のところを年間 167~169 回の給食提供となった。なお、第 11 期分(3 月分)の学校給食費を免除とした。</p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づき、学校給食センターの衛生管理に努めた。食物アレルギーの児童生徒を把握し、安全性を最優先にした対応を実施した。地産地消週間やふるさと給食の日などを活用し、地元の食材を使った献立に努めた。</p>														
今後の課題 方 向 性	<p>食材費の高騰に伴う学校給食費を検討するとともに、公会計化による適正な賦課徴収事務の執行として、未収金の回収及び児童手当からの徴収を推進する。</p>														
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている													
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている													
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要													
評価に対する コ メ ン ト	<p>給食センターの運営は、徹底した安全管理により良好に行われている。公会計化に伴い、適正な賦課徴収事務の執行に努めたい。地元食材を活用した給食を通じて食育に尽力していきたい。</p>														

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○ICTを活用した授業実践を行う体制の整備	
事業等	賀茂地域校務支援事務共同化事業、奨学振興事業 小学校教育振興事業、中学校教育振興事業 (小中学校パソコン整備)	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【賀茂地域校務支援事務共同化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賀茂地域校務支援事務共同化事業負担金 189千円</li> </ul> <p>【小学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書指導書（電子黒板用ソフト等）1,152千円</li> <li>・小学校プログラミング教育用教材リース 1,831千円</li> <li>・小学校教職員用パソコンリース(108台) 2,384千円</li> <li>・小学校教育用パソコンリース(182台) 2,303千円</li> </ul> <p>【中学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書指導書（電子黒板用ソフト等）1,023千円</li> <li>・中学校教職員用パソコンリース料(62台) 2,238千円</li> </ul> <p>【奨学振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング教育業務委託 3,270千円（年25回 42名受講）</li> </ul>		
検証	<p>賀茂地域校務支援事務共同化協議会において教職員の校務事務の効率化を図るため、校務支援システムについての研修会や、指導要録等様式などの調整を行い、事務負担の軽減に繋がるように取り組んだ。</p> <p>新学習指導要領改定により、小学校におけるプログラミング的思考学習が導入されることに伴い、昨年度から先行導入していたプログラミング用教材として、ヒト型ロボットのPepperを活用し、プログラミング教育の推進に努めた。</p> <p>IT人材を育成する地方創生の取り組みとして、学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校通信教育課程を利用し、中学生希望者を対象としたプログラミング教室を、下田中学校と稲生沢中学校の2会場において実施した。</p> <p>また、小学校のパソコン室用のパソコン及び小中学校の教職員用のパソコンを最新機種に更新するとともに、パソコンネットワークの保守及び電子黒板用ソフトの充実を図り、ICTを活用した授業の充実に取り組んだ。</p>		
今後の課題 方向性	<p>新時代における先端技術の活用が求められており、変化の激しい時代においては、創造性を育む教育の実現が重要であることから、ICTの活用は、子どもたちの確かな学力の育成や、授業改善にも役立っており、プログラミング教育を推進するための環境整備を図りながら、更なる効果的な活用を推進する。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>ICTの教育環境整備に伴い、支援員等の活用による教職員の事務負担の軽減及びプログラミング的思考学習を取り入れた新たな授業のあり方に期待したい。</p>		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。		
	◇教育施設・環境整備の推進	○既存学校施設整備	
事 業 等	小学校管理事業、浜崎小学校東館改築事業、中学校管理事業、単独学校施設災害復旧事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p><b>【小学校管理事業・浜崎小学校東館改築事業・中学校管理事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜崎小学校屋内運動場耐力度調査業務委託 1,188千円</li> <li>・小学校防火設備改修工事(稲生沢小・白浜小・下田小・朝日小) 21,060千円</li> <li>・白浜小学校屋内運動場トイレ改修工事 1,404千円(助成金1,400千円)</li> <li>・小学校トイレ改修工事(稲梓小・稲生沢小・浜崎小・大賀茂小) 4,422千円(助成金3,000千円)</li> <li>・中学校トイレ改修工事(稲梓中・下田東中) 3,618千円</li> </ul> <p>※トイレ洋式化率 38.0%(119基/313基)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校空調設備設置工事(繰越明許) 121,244千円(補助金27,417千円)</li> <li>・浜崎小学校東館建設工事(繰越明許) 97,199千円(補助金14,997千円)</li> <li>・浜崎小学校東館解体工事(繰越明許) 20,995千円(補助金11,757千円)</li> </ul> <p>※浜崎小学校屋内運動場改修工事 50,000千円(翌年度繰越)</p> <p><b>【単独学校施設災害復旧事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大賀茂小学校2階図書コーナー床修繕工事 1,244千円</li> <li>・下田中学校単独災害復旧工事(屋上防水修繕工) 2,783千円</li> <li>・下田東中学校単独災害復旧工事(法面復旧工) 2,869千円</li> </ul>
検 証	<p>昭和54年に建築された浜崎小学校の屋内運動場は、外壁の爆裂等劣化が見受けられたため耐力度調査を行い、防火シャッターの開閉に不具合が生じていた稲生沢小学校・白浜小学校・下田小学校・朝日小学校に対して9箇所の改修工事を実施した。</p> <p>静岡県市町村振興協会の助成を受け、稲梓小学校・稲生沢小学校・浜崎小学校・大賀茂小学校・白浜小学校及び稲梓中学校・下田東中学校に対して、洋式トイレ14組の改修工事を実施した。</p> <p>熱中症対策として国からのブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、市内全ての小学校の普通教室51室及び特別教室6室(パソコン室)に対して空調設備設置工事を実施した。</p> <p>学校施設環境改善交付金を活用して、浜崎小学校旧東館の解体及び、新たな東館を建設し、多目的室、パソコン教室、放課後児童クラブ室の新設など、災害時などにも活用可能な施設の充実を図った。</p> <p>9月8日の台風に伴う災害復旧工事として、大賀茂小学校の2階図書コーナー床修繕工事、下田中学校の屋上防水修繕工事、下田東中学校の法面復旧工事を実施した。</p> <p>浜崎小学校屋内運動場耐力度調査の結果を踏まえた屋内運動場改修工事については、年度内執行が困難なため翌年度に全額繰り越すものとした。</p>

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

<p>今後の課題 方 向 性</p>	<p>熱中症対策として、災害時も踏まえた特別教室等への空調設備の設置を検討し、学校施設の計画的な整備を継続して進め、安全・安心で良好な学校環境を確保する。</p>	
<p>教育委員評価</p>	<p>A</p>	<p>十分成果が上がって良好に行われている</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> B</p>	<p>成果が上がって概ね良好に行われている</p>
	<p>C</p>	<p>成果が十分に上がっておらず改善が必要</p>
<p>評価に対する コ メ ン ト</p>	<p>児童生徒の安全安心を確保するため、教育施設の環境整備を推進するとともに、避難所に指定されている学校を優先的に、災害時にも対応できる機能を備えた学校施設の計画的な整備を推進していきたい。</p>	

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携	
事 業 等	公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業、 民間保育所事業	担 当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業】							
	(入所児童数 4/1)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	下田保育所	1人	9人	14人	16人	20人	21人	81人
	認定こども園	3人	10人	17人	43人	47人	60人	180人
	下田幼稚園	—	—	—	11人	11人	9人	31人
	利用者負担金 24,568千円（収入未済額 661千円、不能欠損額 100千円）							
	【民間保育所事業】							
	多様な保育推進事業補助金 12,183千円（特財 4,459千円）							
	待機児童解消特別対策事業費補助金 1,560千円（特財 780千円）							
	民間保育所給食費補助金 1,593千円							
	民間保育所建設費償還事業補助金 2,100千円							
	保育所運営費 161,379千円（特財 95,534千円）							
	利用者負担金 16,894千円（収入未済額 1,790千円、不納欠損額 258千円）							
検 証	<p>保育所（公立1園、民間2園）、認定こども園（公立1園）、幼稚園（公立1園）の体制で就学前児童の教育・保育を実施した。また、一時的な保育ニーズに対応するため、下田保育所において、緊急・リフレッシュ保育事業を実施した（利用者延べ70人）。民間保育所に対し運営費の支出の他、乳幼児・障害児保育、途中入所サポート、給食主食費等に対する補助金の交付を行い、適正な運営体制の確保に努めた。</p> <p>また、令和元年10月1日から、幼稚園、保育所、認定こども園等の3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの保育料が無償化された。これまで保育料に含まれていた3歳から5歳までの子どもの食材料費については、給食費として徴収することとされたものであるが、当市の独自軽減措置として、1号認定子どもについては、現在の月額給食費3,800円から1,000円減額し、2号認定についても、国で示された月額4,500円を1,000円減額するとともに、子どもが3人以上の多子世帯については、所得、第1子の年齢に係らず第2子半額、第3子を無償とした。民間保育所については、公立保育所同様の運営体制を確保するため、従来からの補助事業に加え、給食費の保護者負担を公立保育所と同様に抑えるため、市単独の給食費補助を実施した。</p>							
今後の課題 方向性	家族形態やライフスタイルの多様化に伴う教育・保育ニーズに応えるサービスの提供に努める。民間保育施設に対し、適切な運営体制の確保に向けた支援、指導を継続して行っていく。							
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている						
	B	成果が上がって概ね良好に行われている						
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
評価に対する コメント	保護者や地域の方々と連携し、適切な運営を実施することができた。今後も引き続き、就学前教育の充実を図っていきたい。							

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○幼保再編後の子育て支援の充実と地域との連携	
事業等	子育て支援事業	担当	学校教育課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【地域子育て支援センター運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員1人・臨時職員2人体制、日数237日、利用者人員5,036人</li> <li>交流の場の提供（開放）、子育て相談38件、支援センター通信の発行、講習等の実施8回、参加者176人（保健師講話、乳幼児救命講習、防災講話ほか）、親子体験事業31回、参加者1,881人（体育館で遊ぼう、季節の制作他）、定例事業52回、参加者1,593人（誕生会、発育測定等）</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター事業】</p> <p>登録まかせて会員50人、お願い会員54人、利用実績11件、2人</p> <p>【病児保育事業、実費徴収に伴う補足給付事業】</p> <p>年間利用人員187人、病児保育事業補助金7,371千円（特財5,785千円） 実費徴収に伴う補足給付（教材費・行事費等の実費徴収額の一部助成）23千円</p> <p>【中学生赤ちゃんふれあい体験、子育て支援ガイドブック】</p> <p>中学生赤ちゃんふれあい体験、子育て支援ガイドブック発行</p> <p>【子育てお試しクーポン事業】 未就園児家庭180件を対象に、子育てサービスに利用できる子育てクーポンを配布。利用率51.7%。</p>		
検証	<p>子育て支援センターでは、親子の交流の場の提供、各種講座の開催、子育て相談等を実施し在宅で子育てする保護者の孤立化、育児不安の解消を図り、地域の子育て支援の核として事業を推進した。保護者の就労と育児の両立を支援するため、ファミリーサポートセンターの運営を行ったほか、病気のため集団保育が困難な児童を一時的に預かる病児保育の実施、子育てサービスに利用できる子育てお試しクーポンの配布等を実施し、施策の充実を図った。また、民間団体や関係機関の協力を得て「下田子育て支援ネットワーク」を組織し、子育て支援ガイドブックの作成や中学生赤ちゃんふれあい体験を実施することで、地域・関係団体との連携強化、活動に携わるボランティア、青少年リーダーの育成を推進した。</p>		
今後の課題 方向性	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子育てをできるよう各種事業の整備、充実を図る。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>子育て世帯のニーズが多様化している中、子育て支援の更なる充実を図ってきたい。</p>		

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

<b>施 策 体 系</b>	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇就学前教育の充実	○教職員の資質と能力の向上に向けた研修の充実	
<b>事業等</b>	園内研修の実施、園外研修への派遣	<b>担 当</b>	学校教育課

### 2 事業概要・評価等

<b>事業概要 (具体的施策)</b>	<p>【園内研修の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修（定例職員会議）、テーマ別研修（発達支援、防災・安全対策、食育）</li> </ul> <p>【幼保連携研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢別研修</li> </ul> <p>【園外研修への派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修（園長研修会、主任保育士研修会、教頭・主任研修会、初任者研修）</li> <li>・課題に対応した研修（防災担当者研修会、発達障害療育支援専門講座、乳幼児研修会、食育研修会等）</li> </ul>						
<b>検 証</b>	<p>園内研修では、テーマに沿った話し合いを行うことで職員の共通理解や実践力の向上につながっている。また、職員全員がそろって実施することが難しいため、テーマ別にグループに分けて行うなど効率よく研修できるようにしている。</p> <p>幼保連携研修では、保育所、幼稚園、こども園の担当年齢別のグループにより、当該年齢児の課題に沿った事例検討等を行い保育のあり方の共通認識を図り、相互理解を深めることで職員の意識、能力の向上に努めた。</p> <p>園外研修については、勤務年数や配置に応じて適切な職員を派遣するとともに研修成果をより広げるため、園内報告を実施している。また、園外研修参加に係る代替教諭等の配置を行い研修に参加しやすい体制づくりに努め、子どもの個性や発達状況に応じた教育・保育の質的向上のため、職員の研修環境整備を推進した。</p>						
<b>今後の課題 方 向 性</b>	園内、園外において園や教諭・保育士等の課題に応じた研修が計画的に実施できるよう研修体制を整え、研修機会の確保に努める。						
<b>教育委員評価</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">A</td> <td>十分成果が上がって良好に行われている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span></td> <td>成果が上がって概ね良好に行われている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td>成果が十分に上がっておらず改善が必要</td> </tr> </table>	A	十分成果が上がって良好に行われている	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	成果が上がって概ね良好に行われている	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要
A	十分成果が上がって良好に行われている						
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>	成果が上がって概ね良好に行われている						
C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	今後も効果的な研修を推進し、幼児教育・保育の質の向上に努めたい。						



## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

<b>施 策 体 系</b>	目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。		
	◇施設・環境整備の推進	○認定こども園を核とした 施設・環境整備	
<b>事業等</b>	公立保育所管理運営事業、幼稚園管理事業等	<b>担 当</b>	学校教育課

### 2 事業概要・評価等

<b>事業概要 (具体的施策)</b>	<p><b>【公立保育所管理運営事業】</b> 下田保育所エアコン設置工事 430 千円、下田保育所トイレ改修工事 1,151 千円、下田保育所他修繕 678 千円、カーテン等備品購入 297 千円</p> <p><b>【認定こども園管理運営事業】</b> 植栽ベンチ改修工事 4,299 千円、屋外照明設置工事 743 千円、下田認定こども園他修繕 236 千円、ミニプール等備品購入 985 千円</p> <p><b>【幼稚園管理事業】</b> 下田幼稚園エアコン修繕 615 千円、雨水マンホール等修繕 495 千円、その他修繕 245 千円、物置購入 367 千円</p>		
<b>検 証</b>	公立保育所、幼稚園の施設や設備の老朽化が進行する中、下田保育所エアコン設置工事、下田保育所トイレ改修工事、下田幼稚園エアコン修繕などを実施し入所児童の保育環境の維持・管理に努め、就学前教育における環境整備、安心安全な環境づくりを推進した。		
<b>今後の課題 方 向 性</b>	安全・安心な教育・保育環境を確保するため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組んでいく。また、津波浸水域内にある施設の更なる安全対策を検討、推進していく。		
<b>教育委員評価</b>	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	計画的に修繕・整備等を実施し、良好な環境整備に努めたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○地域活動への参加や地域との交流を深める機会の充実	
事業等	青少年海の家管理運営事業、青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○青少年海の家管理運営事業																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">施設名</th> <th colspan="3">令和元年度</th> <th rowspan="3">使用料収入</th> </tr> <tr> <th colspan="3">利用人員</th> </tr> <tr> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年海の家</td> <td>730</td> <td>1,558</td> <td>2,288</td> <td>7,550</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	令和元年度			使用料収入	利用人員			市内	市外	計	青少年海の家	730	1,558	2,288
施設名	令和元年度			使用料収入															
	利用人員																		
	市内	市外	計																
青少年海の家	730	1,558	2,288	7,550															
検証	<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月19日まで休館</p> <p>・臨時雇賃金（管理人）120千円、光熱水費 66千円、 修繕料 149千円（火災感知器修繕）、消防設備点検委託 99千円</p>																		
	<p>○青少年健全育成事業</p> <p>・青少年健全育成啓発用品 25千円、青少年健全育成看板作成 14千円</p>																		
今後の課題 方向性	<p>青少年海の家は、耐震性がなく老朽化が進み、宿泊制限を実施するため、地元区の意向を聞きながら、施設のあり方について継続して検討していく。</p> <p>青少年の健全育成については、地域社会と青少年の関わりが希薄になっている中で、地域や学校、警察等の関係機関の協力が必要不可欠であるため、関係機関で情報を共有に努めていきたい。</p>																		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている																	
	<b>B</b>	成果が上がって概ね良好に行われている																	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要																	
評価に対する コメント	<p>青少年海の家は、施設の老朽化が進む中、施設自体を今後どのように利用活用していくか、地元区の意見を聞きながら検討する必要がある。また、青少年健全育成事業については、声掛けや見守りを通じて地域と青少年の関わりを関係機関と連携し、子どもたちの健全育成に努めていきたい。</p>																		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○文化や芸術、スポーツなどの青少年活動との連携	
事業等	青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○講座開催状況							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>親子バックステージツアー</td> <td>1組 4人</td> </tr> <tr> <td>親子漁船釣り教室</td> <td>5組 12人</td> </tr> </tbody> </table>		講座名	参加者	親子バックステージツアー	1組 4人	親子漁船釣り教室	5組 12人
講座名	参加者							
親子バックステージツアー	1組 4人							
親子漁船釣り教室	5組 12人							
検証	<p>身近にある恵まれた自然環境と地域の特性を活かした体験的な講座を開設し、親子のふれあいの機会を創出した。</p> <p>親子漁船釣り教室と親子バックステージツアーを令和元年度も引き続き開催した。親子漁船釣り教室では、須崎漁協青年部の協力で、釣りの経験がなくとも、親子で海の仕事、地域の資源、環境保全について学ぶ機会の創出となった。親子バックステージツアーは、下田市民文化会館の舞台裏見学などによって、親子でイベントの運営に興味を持ってもらうと同時に、子どもたちの職業体験にも繋がる事業になったが、両講座とも参加者が少なかった。</p>							
今後の課題 方向性	事業に参加することにより、子どもたちが多くの人とのかかわりを持ち、様々な体験ができるような事業の実施に努めていきたい。							
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている						
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている						
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要						
評価に対する コメント	ひきつづき、家庭、地域、学校と関係機関が連携し、下田の歴史や風土を生かした親子で楽しめる事業を実施していきたい。							

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施策体系	目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。		
	◇青少年活動の充実	○家庭、地域、学校との連携を図った非行防止に向けた運動の推進	
事業等	青少年健全育成事業	担当	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○補導の実施や育成会との連携を行い、青少年の健全な成長に関する取り組み ・青少年補導員報酬 204千円		
検証	<p>青少年補導センターで、各地区の祭典等を中心に、補導員による市内各地区の巡視を実施した。</p> <p>また、青少年の非行被害防止事業として、県内一斉街頭補導指導、店舗の立入調査及び街頭キャンペーンを実施し、青少年の健全育成のための協力を広く呼びかけた。キャンペーンには、下田警察署、女性の会、保護司会、更正保護女性会からも参加があり、関係機関と連携、情報交換しながら、非行防止を呼びかけることができた。</p> <p>例年開催していた補導員と育成会の合同研修については、コロナウイルスの影響により直前で中止となった。</p>		
今後の課題 方向性	年々子どもの数も減り、市内の中学校統廃合といったような環境の変化もある中で、今まで以上に家庭、地域、学校が連携をしていくことで、青少年の健全育成に努めていく必要がある。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	青少年の健全育成を推進するため、関係機関や地域と連携し、青少年の非行防止や青少年を犯罪被害から守るための活動を継続するとともに、スマートフォンや携帯電話関連の犯罪や非行防止についても引き続き積極的に取り組んでいきたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○市民のニーズに合った学習プログラムの提供	
事業等	成人活動推進事業、公民館活動推進事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○各種学級の開設			
	名称	対象	延人員	内容
	寿大学	高齢者	556	教養・健康・安全・歴史講座
	寿大学趣味クラブ	高齢者	235	カラオケ
	家庭教育学級	P T A	2,225	12学級、親の役割と青少年の育成等
	・家庭教育学級委託	180千円		
	・公民館講座講師謝礼	82千円		
検証	<p>高齢者を対象とした寿大学（10回）及び寿大学趣味クラブを開設した。また、公民館ごとに講座を企画し8講座75回開催し、延べ764人が参加した。県、大学の研究機関等による市民講座として、水産・海洋学講座を例年開催していたが、新型コロナウイルスの影響で直前に中止となった。</p> <p>各種事業及び講座には、幅広い世代からの参加があり、多くの市民の生涯学習の場所となっており、市民の生涯学習活動の推進になっている。</p> <p>幼稚園、小中学校P T Aに家庭教育学級の実施を委託し、各種事業が学級ごとに実施され、家庭教育力の向上につながった。</p>			
今後の課題 方向性	各種事業・講座とも新規受講者を増やすためのPRや、下田の魅力を体験できる新たな講座の実施も検討していく。			
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている		
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている		
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要		
評価に対する コメント	参加した受講者の満足度は高く、継続して受講する人が多いが、今後は、新たな受講者の獲得の工夫や新たな講座等の開設などを検討し、生涯学習の場の充実を図っていきたい。			

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○図書館ボランティアとの連携による 図書館サービスの充実	
事業等	図書館管理運営事業	担当	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○図書館ボランティアとの連携による取組</p> <p>おはなし会等 13回開催 (おはなしボランティア6グループ参加 延べ28人)</p> <p>ファーストブック 6回開催 (登録者6人 延べ12人)</p> <p>蔵書点検補助 3回 (登録者5人 延べ7人)</p> <p>書架整理 5回 (登録者1人 延べ5人)</p> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月19日まで休館</p>		
検 証	<p>ボランティアグループによるおはなし会等については、図書館員が一緒に行い雑務等も担うことで、多くのボランティアグループに参加していただくことができた。その結果、おはなし会開催回数、参加者数共に前年度を上回る実績となり、多くの方に本との繋がり場の提供することができた。</p> <p>また、学校司書との連携による学校訪問おはなし会や、子育て支援センターでの出前講座など、他機関との連携による読書推進を行うことができた。</p> <p>職場体験については中学校3校、高校1校から9名の受入を行った。その他、図書館の使い方を案内する図書館訪問の受入、総合調べ学習の受入など、図書館を身近に感じ、図書館の仕事に興味を持つきっかけ作りに貢献することができた。</p>		
今後の課題 方向性	<p>コロナ対策をしながらの、ボランティアグループとの関わりやイベントの開催など、まだまだ課題は多い。中止となってしまったが、合同おはなし会を企画し、隣町の河津町と南伊豆町のボランティア団体との繋がりができたため、時期を見ながらボランティアグループとの合同でのおはなし会や学習会など実施に向けて進めていきたい。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<b>B</b>	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>今後ともボランティアや他機関と連携し、子どもから高齢者まで幅広く対象に、図書館サービスの充実に努めたい。</p>		

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

<b>施 策 体 系</b>	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇生涯学習活動の推進	○社会教育団体などの自主的学習活動の支援	
<b>事業等</b>	社会教育団体などの自主的な学習活動の支援	<b>担 当</b>	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

<b>事業概要 (具体的施策)</b>	○自主的な学習活動の推進・支援 公民館や小・中学校施設（体育館、グラウンド）における使用料の減免措置を実施し、社会教育団体などの自主的な学習活動、体育及びリクリエーションの振興への支援を行った。		
<b>検 証</b>	社会教育団体などの公民館や小・中学校施設（体育館、グラウンド）使用について、減免措置を実施したことにより、自主的な学習活動への支援やスポーツを通じて体力の維持向上、技術の向上、心身の成長などにつながった。		
<b>今後の課題 方 向 性</b>	社会教育団体等の申請件数が増えるよう、生涯学習活動の推進に取り組んでいきたい。		
<b>教育委員評価</b>	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	今後も幅広く充実した生涯学習の活動推進に努めていきたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇学習施設の再編、整備	○新たな図書館の建設	
事業等	図書館協議会、下田市立図書館庁内検討委員会等	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>平成30年度に図書館協議会の考えをまとめた、「これからの図書館のありかた」を踏まえ、令和元年度は行政的立場から考える図書館整備について「下田市立図書館庁内検討委員会」を立ち上げ、新図書館について検討した。</p> <p>検討委員会・幹事会 計6回 (視察1回、総務省地域情報化アドバイザーとのワークショップ1回、同アドバイザーによるフォローアップ研修1回含む。)</p>		
検 証	<p>令和2年度に基本構想策定を目標に庁内での検討を行った。中心市街地がほぼ津波浸水域という現状、人口減少、少子高齢化、財源減少が進行する中で、頓挫しがちな新図書館の整備について、地域情報化アドバイザーと共に新図書館の立地や図書館が様々な政策に関係している施設という認識のもと図書館の必要性について意識を共有し、持続可能な実現性のある図書館像について検討した。</p> <p>中長期的な図書館像を見据えて、図書館の機能分化、施設の複合化や既存施設への増設及び改修なども視野に、創意工夫と思いついた発想の転換により下田市らしい図書館像を検討することができた。</p>		
今後の課題 方 向 性	<p>昨年度末に、図書館整備についての予算がつかず、現状では、計画方針等は白紙の状況である。今後、庁内での方針決定を待ち、必要に応じて、図書館協議会や庁内検討委員会等で引き続き検討したい。</p> <p>また、市民に対し、これからの図書館の役割や図書館の必要性について理解を深めるための市民向けワークショップや講演会等開催したい。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	<p>「下田市公共施設等総合管理計画」に基づき全庁的な検討をするとともに、計画との整合性を図りつつ、持続可能な図書館のあり方について、図書館の施設、サービス、運営などについて協議を進めたい。</p>		



# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。		
	◇学習施設の再編、整備	○地域の実情に見合った公民館の再編整備	
事業等	公民館管理運営事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○公民館利用状況				
	公民館名	令和元年度		平成30年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数
	中央公民館	1,710	20,539	1,819	21,995
	本郷公民館	241	2,249	264	2,797
	中公民館	258	4,832	240	3,975
	稲生沢公民館	403	5,354	443	4,340
	朝日公民館	2,062	11,611	253	3,594
白浜公民館	165	2,937	175	2,744	
合計	4,839	47,522	3,194	39,445	
<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月19日まで休館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時雇賃金（管理人）1,699千円</li> <li>・光熱水費 3,834千円</li> <li>・修繕料 1,452千円＋災害復旧1,115千円</li> <li>・工事費 3,604千円</li> </ul>					
検証	<p>修繕・工事については、優先順位をつけて修繕及び工事を実施し施設の維持管理をしている。中央公民館と朝日公民館のフェンス設置工事や中央公民館の外部・内部各所修繕等を行い利用者の安全と利便性の向上に努めた。</p> <p>公民館統廃合については、中公民館は令和2年7月1日をもって廃止、白浜公民館は令和3年4月1日に地元区へ譲渡、本郷公民館は地元区では譲り受けないと決定した。朝日公民館と稲生沢公民館の2館については既に地元区では公民館を譲り受けないと決定している。</p> <p>なお、朝日公民館については放課後児童クラブを設置したため利用件数・人数が大幅に増加している。</p>				
今後の課題方向性	公民館統廃合について、地元区との協議を進め、基本方針に沿って統廃合を進めていく。また、存続する中央公民館のあり方について検討していきたい。				
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている			
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている			
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要			
評価に対するコメント	公民館の管理運営については、概ね良好に執行されている。統廃合については、すでに公民館を廃止した地区との平等性を保つよう、地元区との協議を進め、継続して統廃合を推進していきたい。				

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
体 系	◇文化施設の整備	○市民文化会館などの施設の改修	
事業等	市民文化会館管理運営事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	○市民文化会館の管理運営 貸館事業状況一覧表					
	施 設 別			催 物 別		
	施 設	件数	利用者数	催 物	件数	利用者数
	大 ホ ー ル	134	35,092	集 会	1,018	35,039
	小 ホ ー ル	171	16,409	展 示	83	8,784
	大 会 議 室	250	14,082	音 楽	671	31,607
	小会議室(3)	507	7,514	映 画	18	2,936
	リハーサル室	233	3,123	演 劇	114	3,903
	そ の 他	781	11,182	そ の 他	172	5,133
	計	2,076	87,402	計	2,076	87,402
	<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月19日まで休館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化会館指定管理料 75,109千円 + 519千円 (新型コロナウイルス対策リスク分担分)</li> <li>・修繕料 858千円 ・委託料(指定管理分以外) 1,699千円</li> <li>・工事費 21,419千円 ・備品購入費 499千円</li> </ul>					
検 証	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成30年度より3か年の期間で公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定している。</p> <p>指定管理者により多彩な文化事業が実施されており、令和元年度は、クラシックコンサート、映画上映会、下田吹奏楽祭等19事業が開催され、延べ8,865人の入場者があった。</p> <p>毎年約10万人の利用者があり、伊豆半島南部の文化拠点として定着しているが、建築から30年が経過し、建物本体の一部をはじめすべての機器が耐用年数を大幅に過ぎた状態になっている。令和元年度には、1階トイレ改修工事と大ホール舞台操作盤取替工事、1階身障者便所フラッシュバルブ修繕、中庭漏水修繕を実施するとともに大ホール吊り天井の耐震診断を行った。また、備品として故障していた移動用ワイヤレスマイクを購入し、利用者の安全と利便性の向上に努めた。</p>					
今後の課題 方向性	<p>建築から30年が経過し、設備全般にわたり老朽化が顕著になってきているため、円滑な運用、利用者の安全と利便性の向上のため、修繕計画に沿って計画的に改修を行いたい。また、新型コロナウイルスの対策をしっかりと行ったうえで利用促進を図りたい。</p>					
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている				
	B	成果が上がって概ね良好に行われている				
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要				
評価に対する コメント	<p>修繕計画に沿って、計画的な改修ができるよう予算確保に努め、利用者の安全を確保し、魅力ある施設づくりを努めていきたい。</p> <p>建築から30年以上が経過したことから、大規模リニューアル改修についても検討を進めていきたい。</p>					

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施策体系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇文化・芸術活動の活性化	○文化事業や講座の開催 ○自主的な文化活動への支援	
事業等	芸術文化振興事業	担当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○文化事業や講座の開催</p> <p>&lt;第64回下田市芸術祭の開催&gt;</p> <p>会 期：前期 11月2日～4日 後期 11月8日～10日</p> <p>会 場：下田市民文化会館ほか</p> <p>出展数：展示部門 186点 芸能部門 35組</p> <p>入場者数：展示部門 2,829人 芸能部門 1,320人</p> <p>・下田市文化協会文化振興事業（芸術祭） 250千円</p> <p>○自主的な文化活動への支援</p> <p>生涯学習課所管施設（公民館や文化会館等）における使用料の減免措置をし、自主的な文化活動への支援を実施。</p> <p>下田市文化協会と共同で広報活動の強化を図り、5月と10月を「自由開放の月」と題し、新規会員の獲得や体験入会の強化月間として、かいらん発行日に合わせてチラシを作成し配布した。</p>		
検 証	<p>第64回下田市芸術祭を下田市文化協会、下田市振興公社、下田市教育委員会の3者で組織した執行会をもとに開催した。今回は体験プログラムを実施し、一般の方に知ってもらう良い機会となった。</p> <p>その他、年1回の会報の発行や、第29回黒船祭美術展覧会の開催など、市内芸術活動の発展向上、普及に寄与している。</p> <p>各文化・芸術団体の生涯学習課所管施設使用について、減免措置を実施したことにより、自主的な文化活動への支援につながった。</p>		
今後の課題 方 向 性	下田市文化協会と連携し、幅広い文化・芸術活動の推進を行い、新たな世代に活動が広がるよう啓発に努めたい。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	文化協会と協力して、すでに定着した定例の事業に加え、文化協会への加盟の促進、幅広い世代の会員の増加につながるよう新たな取組みを検討していきたい。		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇文化財の保存、継承と活用	○国、県、市の指定文化財の保存と活用 ○民俗芸能などの地域文化の継承 ○埋蔵文化財の保護・保全	
事 業 等	芸術文化振興事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>○国、県、市の指定文化財の保存と活用</p> <p>吉田松陰寓寄処 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月31日まで休館 入場者数2,641人</p> <p>&lt;吉田松陰寓寄処土地購入&gt; ・用地測量1,870千円 ・不動産鑑定173千円 ・用地購入5,100千円</p> <p>&lt;吉田松陰寓寄処案内看板設置&gt; ・工事費1,113千円</p> <p>&lt;下田城址地形測量業務委託&gt; ・委託料4,180千円</p> <p>&lt;文化財保護事業補助金&gt; ・玉泉寺アメリカ人墓地改修事業補助金1,259千円</p> <p>&lt;歴史講座&gt; ・5回の連続講座「南豆の歴史を後世に」を実施（延べ139人の参加）</p>		
検 証	<p>県指定史跡吉田松陰寓寄処の土地購入を行うとともに案内看板の設置工事を行い、活用を図った。市指定史跡下田城址の地形測量業務を実施し、遺構の保存状況について把握した。国指定史跡である玉泉寺アメリカ人墓地改修事業に補助金を支出した。</p> <p>連続講座「南豆の歴史を後世に」を実施し、市内のみならず他市町からの参加者もあり、幅広い年代の参加者があった。</p>		
今後の課題 方 向 性	指定文化財等の所在確認を行い、所有者への適切な管理についても指導していく。文化財等の保護保存に努め、活用についても検討する。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<b>B</b>	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	指定文化財等の所在確認を、保護と管理、地域文化の継承に努めていきたい。		

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

施策体系	目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。		
	◇郷土資料の保存、継承と活用	○郷土資料の保存や研究と市史編纂事業の実施 ○郷土の文化財などの学習活動への支援	
事業等	市史編さん事業	担当	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○ 下田市史編さん事業</p> <p>『図説年表』、『資料編4』近現代、『通史編（上）』考古・古代・中世・近世、『通史編（下）』近現代の刊行に向け、資料収集、資料調査、原稿作成等。</p> <p>・臨時雇賃金（市史編さん補助）1,195千円、 報償費（市史編さん委員の調査活動等謝金）2,764千円</p>		
検証	<p>刊行予定の書籍の資料収集、資料調査や執筆の進捗状況について、市史編さん委員と打合せを行いながら、刊行時期の調整を行った。</p> <p>学術的要素が強く、専門性の高い資料編のほか、市民向けの書籍を出版し、後に出版される通史編をより理解できるよう、図説年表の出版を予定に加えた。</p>		
今後の課題 方向性	早期の『通史編』の刊行を行いたい。		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コメント	<p>早期の通史編の刊行に努め、各分野で収集・解読した貴重な資料をわかりやすく市民に知ってもらう機会やまちづくりに活用できる方策についても検討していきたい。</p>		

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇施設の有効活用	○学校施設の一般開放	
事業等	保健体育総務事務	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>○市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、市が設置する小学校及び中学校の施設（体育館、グラウンド）を開放し、各スポーツ団体に活動場所を提供した。</p> <p>学校施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>2,215 件</td> <td>29,309 人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>257 件</td> <td>3,840 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育館は2月29日～3月31日まで休館</p> <p>・光熱水費 581 千円</p>			令和元年度	件数	利用人数	体育館	2,215 件	29,309 人	グラウンド	257 件	3,840 人
	令和元年度	件数	利用人数									
体育館	2,215 件	29,309 人										
グラウンド	257 件	3,840 人										
検 証	<p>利用団体は児童から老人クラブまで幅広く、多くの利用者の体力の維持向上、技術の向上、心身の成長などにつながった。</p>											
今後の課題 方 向 性	<p>競技スポーツの振興、スポーツ関係団体の育成を図るため、施設の適正な維持管理を行っていききたい。</p>											
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている										
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている										
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要										
評価に対する コ メ ン ト	<p>今後も、多くの利用者が安心安全に施設利用できるよう、適切な管理運営に努めていきたい。</p> <p>中学校統合後の施設の活用についての検討を進めていきたい。</p>											

# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇施設の有効活用	○利用者のニーズに応える施設整備	
事 業 等	下田市民スポーツセンター管理運営事業 吉佐美運動公園管理運営事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	○下田市民スポーツセンター 施設利用状況				
		令和元年度		平成30年度	
		件数	利用人員	件数	利用人員
	体育館	630	18,938	752	21,037
	会議室1	287	8,793	299	9,806
	会議室2	297	4,471	277	4,004
	視聴覚室	579	20,475	726	24,379
	創作実習室	236	6,442	271	6,776
	陶芸窯	24	512	27	520
	合計	2,053	59,631	2,352	66,522
	利用料収入(円)	3,506,100		4,142,300	
	<p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月29日～3月19日まで休館 (体育館は3月31日まで休館)</p> <p>・下田市民スポーツセンター指定管理料 21,313 千円 + 443 千円 (新型コロナウイルス対策リスク分担分)</p>				
	○吉佐美運動公園 利用件数 171 件 利用人数 15,616 人 ・吉佐美運動公園管理業務委託 981 千円 ・光熱水費 147 千円				
検 証	<p>下田市民スポーツセンターは、平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成30年度より3か年の期間で公益財団法人下田市振興公社を指定管理者に指定しており、体育館を中心とした市民の健康施設として、多機能に利用されている。吉佐美運動公園の管理は、エルダーの会に委託し、児童から高齢者まで広く使われる施設であり、市民の健康増進、競技技術の向上などに繋がっている。</p>				
今後の課題 方向性	<p>下田市民スポーツセンターについては、施設の老朽化により、修繕を必要とする箇所が次々控えている現状である。利用者の安全と利便性の向上のため、修繕計画に沿って計画的に改修を行いたい。 吉佐美運動公園については、今後も適正な維持管理に努め、利用しやすい公園として整備していきたい。</p>				
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている			
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている			
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要			
評価に対する コメント	<p>今後も、多くの市民が安心安全に施設利用できるよう、適切な管理運営と市民サービスの向上に努めていきたい。</p>				

## 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

### 1 施策体系・事業等

<b>施 策 体 系</b>	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇スポーツの振興	○市民が気軽に参加できるスポーツ イベントの開催	
<b>事業等</b>	社会体育活動推進事業	<b>担 当</b>	生涯学習課

### 2 事業概要・評価等

<b>事業概要 (具体的施策)</b>	○各種スポーツイベントの開催		
	ふれあい広場（軽スポーツ）	参加者 117名	
	ボッチャ教室（3回）	参加者 計79名	
	グラウンドゴルフ大会	申込者 151名 荒天のため中止	
	第48回下田・河津間駅伝競走大会	申込チーム 72チーム 荒天のため中止	
<b>検 証</b>	<p>下田市スポーツ推進委員会を中心に、市民が広くスポーツを楽しむ機会、健康づくりの場を創出している。</p> <p>令和元年度はパラリンピック競技であるボッチャの体験会を3回開催したところ子供からお年寄りまで幅広い参加があった。</p> <p>グラウンドゴルフ大会と第48回下田・河津間駅伝競走大会については荒天のため中止となった。</p>		
<b>今後の課題 方 向 性</b>	スポーツの振興のため、多くの世代が参加できる新たなスポーツとして引き続きボッチャ教室を推進していきたい。		
<b>教育委員評価</b>	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
<b>評価に対する コ メ ン ト</b>	既存の事業のほかにも幅広い世代の方が参加できる競技の普及を進めていきたい。		



# 令和2年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和元年度事業）

## 1 施策体系・事業等

施 策 体 系	目標6 市民がいつでも気軽にスポーツができるまちづくりを目指します。		
	◇スポーツの振興	○NPO法人などと連携した 総合的なスポーツの振興	
事 業 等	社会体育活動推進事業	担 当	生涯学習課

## 2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>○下田市スポーツ祭委託 344千円</p> <p>○下田市体育協会補助金 155千円</p> <p>&lt;13団体&gt;</p> <p>陸上競技協会、サッカー協会、テニス協会、バレーボール協会、野球連盟、水泳協会、グラウンドゴルフ協会、ソフトテニス協会、ビーチバレー協会、弓道連盟、ゴルフ連盟、合気会、バスケットボール協会</p> <p>○静岡県市町対抗駅伝大会選手団派遣業務委託 1,157千円</p> <p>○全国大会等出場費補助金 2件 49千円</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピック下田市推進協議会補助金 206千円</p>		
検 証	<p>競技スポーツの振興、関係団体の育成を図るため、下田市スポーツ祭を下田市体育協会に委託した。</p> <p>第20回静岡県市町対抗駅伝競走大会に参加するため、下田市実行委員会を組織し、選手候補の指導から大会当日の選手派遣までを下田市体育協会に委託し、過去最高の記録となり敢闘賞を受賞した。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーや機運醸成のため協議会をたちあげ、各種団体と連携を図った。</p>		
今後の課題 方 向 性	<p>下田市体育協会の加盟団体は、競技人口の多いスポーツが主となっているため、今後はマイナースポーツの振興についても積極的に支援していきたい。</p> <p>市町対抗駅伝競走大会への選手候補者獲得ため、新たな方法を検討したい。</p> <p>オリンピック・パラリンピックの開催に向けて機運の醸成をはかっていきたい。</p>		
教育委員評価	A	十分成果が上がって良好に行われている	
	<input checked="" type="checkbox"/> B	成果が上がって概ね良好に行われている	
	C	成果が十分に上がっておらず改善が必要	
評価に対する コ メ ン ト	<p>下田市体育協会との連携について、メジャースポーツだけでなくマイナースポーツも対象に加盟団体を増やし、様々な競技の活動を推進していきたい。</p>		

## 6 有識者委員会

下田市教育委員会の点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用については、令和2年10月27日に下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会を開催しました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	進 士 司	学校関係者 (元学校長)
副 委 員 長	高 寺 輝 行	学校関係者 (元学校長)
委 員	佐 野 晃 一	学識経験者 (公認会計士)
委 員	横 山 静 子	学識経験者 (下田市女性の会)

## 7 有識者委員会の意見

令和元年度事業の点検評価は、下田市教育大綱に位置付けられた6つの目標のうち、教育委員会の内部評価を経た37事業について実施しました。

教育委員会の内部評価のうち、37事業中36事業を「成果が上がって概ね良好に行われている」、1事業を「成果が十分に上がっておらず改善が必要」と評価されました。

点検評価に際しては、下田市教育委員会から提出の自己点検・評価シート、主要な施策の成果等の資料を基に担当課長及び係長からの説明並びに教育委員からの補足説明を聴取し、質疑応答を行いました。

有識者委員会としては、各事業の点検・評価シートにおいて、各事業について高く評価する点や今後の改善が期待される点などを指摘しましたが、全体的には概ね良好な実施状況であるとして評価しました。

今後も、下田市教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携の強化を図り、下田市教育大綱における本市の基本理念である『開国のまちから 夢をつなぐ「未来の人づくり」「自ら学ぶ人づくり」』の推進に努めていただきたい。

教育大綱の6つの目標ごとの意見要旨は、以下のとおりです。

### 【目標1 自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」を推進します。】

- ・教師の働き方改革が進められていることからわかるように、先生方の負担は並大抵ではないと思う。昔は保護者、地域の方々が協力し地域社会が形成されていたが、今現在の地域社会の核としての学校の存在意義というものを熟慮していただきたい。
- ・県内の不登校児童生徒は増加傾向にあるとのことだが、下田市では気になる子に関する報告を行い、教師同士が共通理解しているとのことなので、継続して続け不登校児童生徒を増やさないようにしていただきたい。
- ・中学校再編整備事業による統合が控えているが、GIGA スクール構想に係る校内のネットワークなどの環境整備は、4中学校どの学校も公平にしていきたい。

**【目標2 「生きる力」の基礎を育む就学前教育を推進します。】**

- ・県内外の先進地区の研修に積極的に参加し、戻ってから地元での伝達研修に結び付けたい。

**【目標3 家庭、地域、学校と関係機関が連携し、豊かな感性と社会性のある青少年を育成します。】**

- ・学校の教育だけではなく、家庭の教育も大切にしていきたい。そのためには、家庭の教育力向上のための研修会などに取り込む必要があると思う。
- ・スタッフが少なく大変だとは思いますが、下田の歴史や風土を生かした事業や、キャンプや学校を使って科学実験教室を行ったり、親子がより楽しめる講座を開催していただきたい。

**【目標4 いつでも、だれでも生涯にわたり学習できるまちを目指します。】**

- ・公民館の管理について、建物の老朽化の観点などもあるが、公民館を取り壊しても莫大な解体費用がかかり、市の負担が大きくなる。

**【目標5 歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します。】**

- ・新たな世代に活動が広がるよう指導者の育成施策をお願いしたい。

**【目標6 市民がいつでも気軽にスポーツできるまちづくりを目指します。】**

- ・ボッチャ教室を開催したと記載があるが、一過性ではなく継続事業にし、地域に浸透するスポーツにしていきたい。
- ・ボッチャなど、ルールが簡単で、高齢者、障害者の方もできるスポーツを社会福祉協議会と協力して、各地域に推進していただきたい。

## 8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 第3条第3項本文の規定にかかわらず、初回の委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

令和2年度(令和元年度実績事業)  
下田市教育委員会自己点検・評価報告書

発行日 令和2年(2020年)11月

発行 下田市教育委員会

〒415-0024 静岡県下田市四丁目6番16号

TEL 0558-23-3929 FAX 0558-23-5176

E-Mail s-kyoui@city.shimoda.lg.jp